buddy buddy（バディバディ）

4Way ポーチキャリー

取扱説明書

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用になる前に、よくお読みのうえ正しくお使いください。
また、**取扱説明書は必ず保管してください。**
本製品を他のお客さまにお譲りになるときには、
必ず取扱説明書もあわせてお渡しください。

材料・部材は充分に選別しておりますが、主な素材が繊維であるため、使用頻度にもよりますがお使い始めてから約3年を耐用年数とお考えください。

使用できるお子さまの月齢

※お子さまの発育により同じ月齢でも体格や体重に個人差があります。

- ヨコ抱っこ：生後10日頃から～首がすわる（4ヵ月頃）まで
- 対面抱っこ／前向き抱っこ／おんぶ：首がすわってから（4ヵ月頃）～24ヵ月頃（体重13kg）まで

お手入れ方法

- 洗濯は水またはぬるま湯で手洗いし、手で弱く絞って陰干ししてください。
- 軽い汚れの場合は、湿らせた布でたたいて落としてください。
- 素材および洗濯表示については、製品に縫い付けのラベルをご参照ください。

洗濯についてのご注意

- 色落ちする場合がありますので、他の洗濯物とは別に洗ってください。つけ置き洗いも避けてください。
- 漂白剤、蛍光剤入りの洗剤は使用しないでください。
- 洗濯機、脱水機、乾燥機の使用はしないでください。バックルなどの破損につながるおそれがあります。

使い方にお困りの方はインターネットで検索してください。

buddy buddy　4wayポーチキャリー　使い方　検 索

※安全基準等により、仕様が予告なしに変わることがあります。

製品には万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら下記までご連絡ください。

LUCKY ラッキー工業株式会社

〒503-2423 岐阜県揖斐郡池田町青柳83-8　TEL.0585-45-7425
SG基準認定工場 第31-001号
ホームページアドレス　http://www.lucky-baby.co.jp

13.7 5000

・SGマークは、（財）製品安全協会が定める子守帯の認定基準に合格した製品に与えられるマークです。
・製品の欠陥によって、けがなどの人身事故が発生した場合は、（財）製品安全協会がその損害賠償措置をいたします。
但し、ご購入日より3年間です。（ご購入日がわかるレシートを保管してください。）

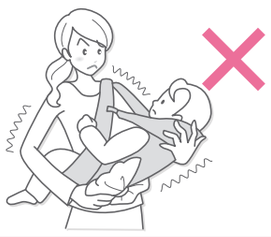
安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために、使用前に必ず取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

⚠ 警告

誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します。

「ヨコ抱っこ」は首がすわる（4ヵ月頃）まで、「対面抱っこ、前向き抱っこ、おんぶ」は体重13kgまでとしてください。



使用中に、バックル類を外さないでください。また、確実にとまっていることを確認してください。

使用の際は、使用者の身体に合わせて各ベルトを調節してください。

使用中に走ったり、跳んだり、極端な前かがみや横曲げなどの無理な姿勢はしないでください。

お子さまがそり返ったり、動いて安定しない場合は使用しないでください。

火気の近くで使用したり、製品を放置しないでください。

飛行機、車、自転車、バイクでは使用しないでください。

だっこ時は、使用者の視界が妨げられたり、足元が見えにくくなりますので歩行時には充分注意してください。また階段等の段差のある場所では、お子さまの上体を正面から横にずらしたりヘッド部分を折り曲げるなど、視界を確保してください。

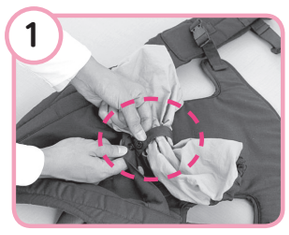
⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、使用者が障害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容を示します。

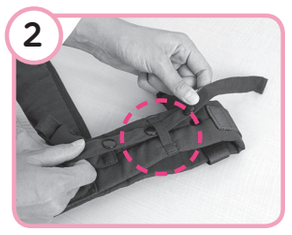
- ●授乳後30分以内や、連続2時間以上は使用しないでください。（お子さま、使用者が体調を損なうおそれがあります）
- ●使用中にお子さまの気道をふさぐことがないなど、状態に注意してください。
- ●お子さまの乗せおろしは、安全な場所でおこなってください。他の人に介添えいただくとより安全です。
- ●バックル開口部にお子さまが手指を入れないように注意してください。また製品を使用しないときも、バックルが開口してないよう、はめ込んでおいてください。
- ●ベルト先端の返し縫い部は、ほどいたり切り落としたりして使用しないでください。
- ●使用前には、やぶれ、ほつれ、傷、またはバックルなどが破損していないか確認してください。破損している場合は使用を中止してください。
- ●汗や水で湿った状態で強い摩擦をうけると、他に移染するおそれがあります。
- ●直射日光のあたる場所に保管しないでください。（劣化や変色することがあります）

フードの取り付け方について

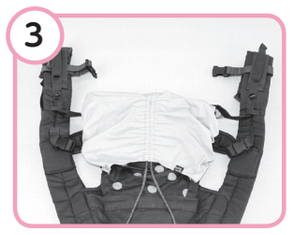
★フード取り付けに際しての注意　横抱きとおんぶについては、お子さまを抱っこひもに乗せる前にフードを取り付けてください。



1 フード中央ベルトを外し、フード（リボン）を広げます。



2 フードベルトをフード留めボタンに留めます。安全のために、フードベルトをフードループに通してください。



3 取り付け完成です。お子様に合わせてボタンの留め位置を変えてください。

対面抱っこの際にはさらに涼しく抱っこすることができます。

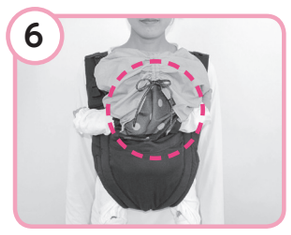
1 本書の表面“対面抱っこ”の⑦まで進めてください。

2 抱っこひもの背中側にあるフード（リボン）を本体から外します。フードはそのまま下に垂らしてください。

3 両肩にあるスリーピングサポートのバックルを外してください。

4 抱っこひもの背中部分をおしり部分にあるポケットに折り曲げて収納してください。

5 フードベルトのボタンを肩ベルト上にあるフード留めボタンに留めてください。



6 フードテープを絞れば完成です。

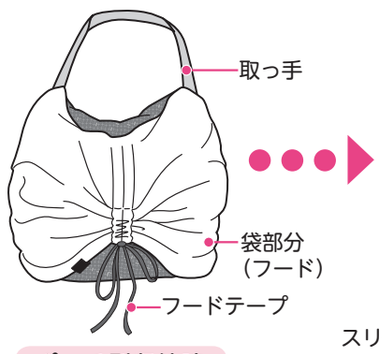
フードを本体に収納できます。

1 本書の表面“対面抱っこ”の⑦まで進めてください。

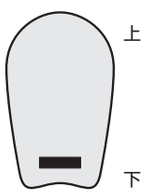
2 フード（リボン）を抱っこひものおしり部分にあるポケットに収納します。

3 完成です。

全体図（商品名称）

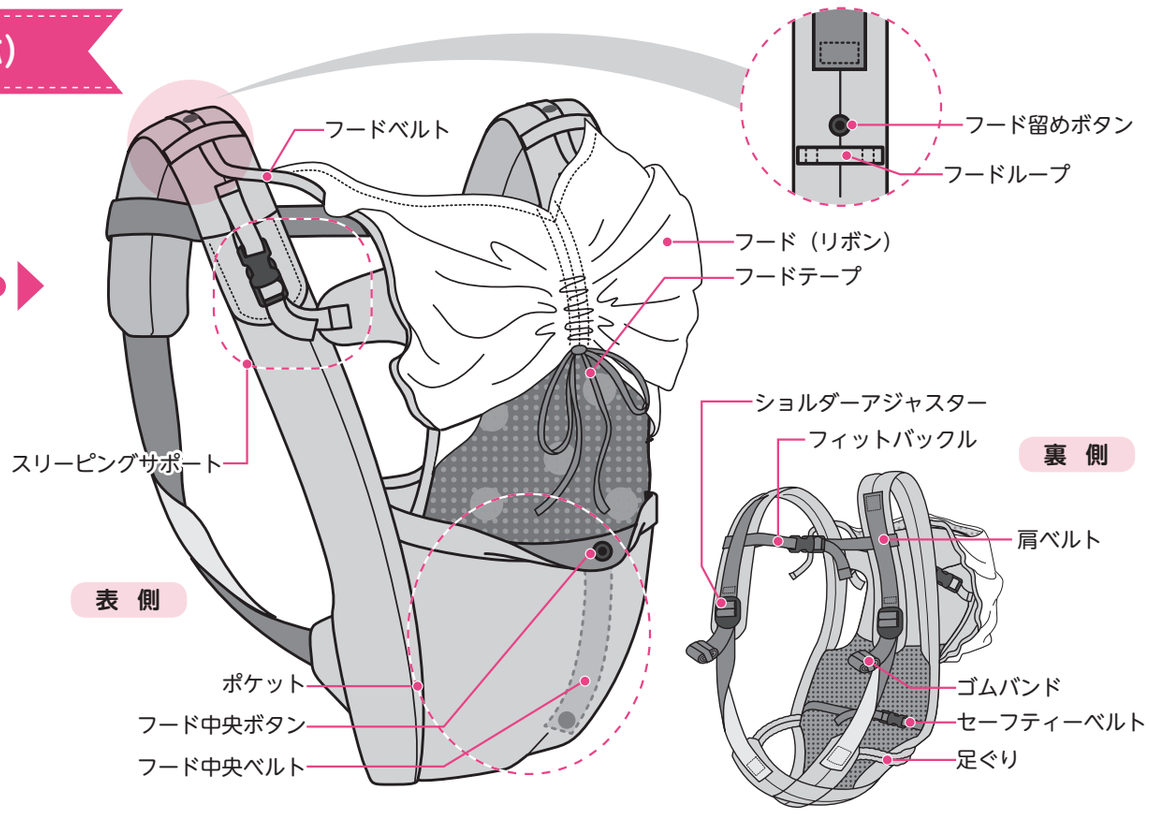


ポーチ型収納時



背当てボード

※向きが分かりやすいよう、写真は面ファスナーの色を変えています。



●準 備 収納状態から抱っこできるようにします。

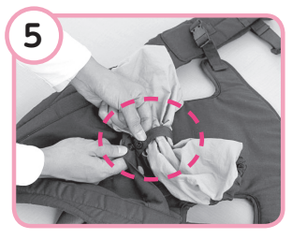
本品は、お買い求めいただいたときにはポーチ型に収納した状態にしてあります。
お使いいただく前に、使用できるように準備します。

背当てボードを取り出します。
フードテープを緩めて背あてボードを取り出してください。

本体を取り出します。

袋部分（フード）を裏返します。
袋部分を裏返すと本体頭部が出ます。

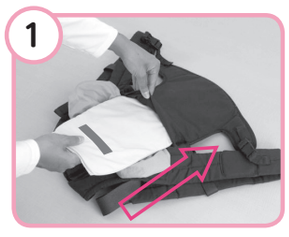
抱っこひもを裏返します。
フードをリボン型にまとめます。フード中央ベルトの場所を確認してください。



フードを本体に留めます。
フード中央ベルトでフードを本体に留めます。フード中央ボタンは抱っこひものおしり部分の裏側にあります。全体図参照

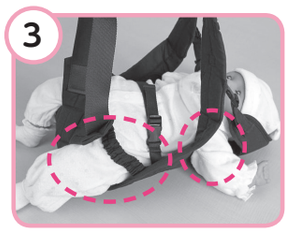
準備の完了です。

ヨコ抱っこ（背当てボードを使用します）

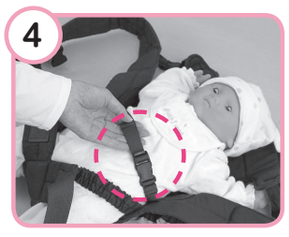


背当てボードをセットします。
本体頭部の差込口から入れて、面ファスナーで留めます。

肩ベルトの長さを調節します。
たすき掛けに掛けます。赤ちゃんの頭部が使用者の胸に、おしりがウエストの位置にくるようにショルダーアジャスターで長さを調節してください。調節後、一度外します。



お子さまを乗せます。
お子さまの足を足ぐりに通し、腕を肩ベルトとスリーピングサポートの間の穴から出します。



セーフティベルトを留めます。
お子さまの安全のためにセーフティベルトのバックルを留めます。ベルトの締め具合は、大人の指が２～３本入るくらいが目安です。

フィットバックルを留めます。
たすき掛けした左右の肩ベルトのずれ防止になります。

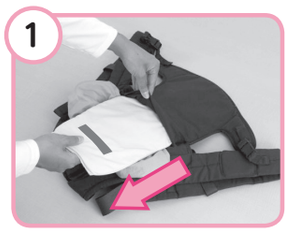
お子さまを抱き上げます。
肩ベルトを肩にたすき掛けに掛け、頭部とおしりを手で支えて上体を起こします。

ヨコ抱っこの完了です。
頭部が使用者の胸に、おしりがウエストの位置にくるように抱きます。横抱きの際に、赤ちゃんの腕が抱っこひもと使用者の間に挟まれないようにしてください。

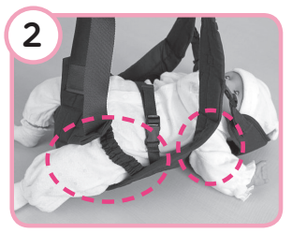
※ヨコ抱っこは左抱き、右抱きのどちらでもお使いいただけます。説明図は左抱きの場合です。（お子さまの頭が使用者の左胸にくる抱きかたです。）

はずしかた
装着するときの手順を逆にして行ないます。

対面抱っこ（背当てボードを使用しません）



背当てボードを取り出します。
本体頭部の差込口から取り出してください。



お子さまを乗せます。
お子さまの足を足ぐりに通し、腕を肩ベルトとスリーピングサポートの間の穴から出します。

セーフティベルトを留めます。
お子さまの安全のためにセーフティベルトのバックルを留めます。ベルトの締め具合は、大人の指が２～３本入るくらいが目安です。

フィットバックルを留めます。
肩ベルトに腕を通して、フィットバックルを首の後ろで留めます。装着しづらい場合は、先にフィットバックルを留めてから頭をくぐらせてください。

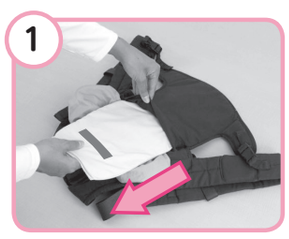
ベルトを調節します。
ベルトの調節で、上下左右にベルトの幅をかえられます。お好みに合わせて調節してください。

肩ベルトを調節します。
お子さまの位置に合わせて調節します。調節して余った肩ベルトはゴムバンドで留めておきます。斜め前にベルトを引くと調節しやすいです。

対面抱っこの完了です。

はずしかた
装着するときの手順を逆にして行ないます。

前向き抱っこ（背当てボードを使用しません）



背当てボードを取り出します。
本体頭部の差込口から取り出してください。

フィットバックルを留めます。
肩ベルトに腕を通して、フィットバックルを首の後ろで留めます。このとき肩ベルトを長くしておくとお子さまを乗せやすいです。装着しづらい場合は、先にフィットバックルを留めてから頭をくぐらせてください。

スリーピングサポートのバックルを外します。

お子さまを乗せます。
片側の肩ベルトを肩からずらし、お子さまの足を足ぐりに通して乗せます。

肩ベルトを掛けます。
お子様の腕が肩ベルトと使用者の体の間に挟まれないようにしてください。

スリーピングサポートを留めます。
外していたスリーピングサポートのバックルを留めます。背当て部分は赤ちゃんのあごの下で折り曲げてください。

セーフティベルトを留めます。
セーフティベルトのバックルを留めます。赤ちゃんが過度に圧迫されないようにしてください。ベルトの締め具合の目安は大人の指が２～３本入るくらいです。

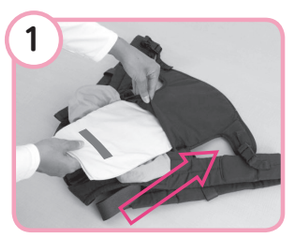
ベルトを調節します。
ベルトの調節で、上下左右にベルトの長さを変えられます。お好みに合わせて調節してください。

肩ベルトを調節します。
矢印の方向に引っ張り調節します。調節して余ったショルダーベルトはゴムで留めておきます。斜め前にベルトを引くと調節しやすいです。

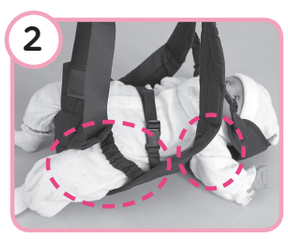
前向き抱っこの完了です。

はずしかた
装着するときの手順を逆にして行ないます。

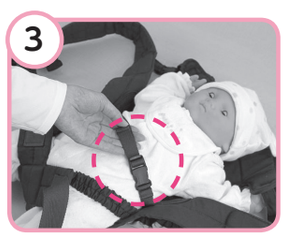
おんぶ（背当てボードを使用します）



背当てボードをセットします。
本体頭部の差込口から入れて、面ファスナーで留めます。



お子さまを乗せます。
お子さまの足を足ぐりに通し、腕を肩ベルトとスリーピングサポートの間の穴から出します。



セーフティベルトを留めます。
お子さまの安全のためにセーフティベルトのバックルを留めます。ベルトの締め具合は、大人の指が２～３本入るくらいが目安です。

肩ベルトを掛けます。
肩ベルトをしっかり持って、お子さまを背中に引き寄せて肩に掛けます。

フィットバックルを留めます。
肩ベルトに腕を通して、フィットバックルを留めます。

ベルトを調節します。
ベルトの調節で、上下左右にベルトの長さをかえられます。お好みに合わせて調節してください。

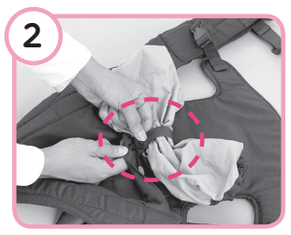
肩ベルトを調節します。
お子さまの位置に合わせて調節します。斜め後ろへベルトを引っ張ると調節しやすいです。

おんぶの完了です。

はずしかた
装着するときの手順を逆にして行ないます。

●ポーチ型収納

背当てボードを抜きます。



フード中央ベルトを外します。

フードベルトをフード留めボタンに留めます。
フードベルトを肩ベルトに留めることで収納しやすくなります。

肩ベルトをたたみます。
本体を裏返し、左右の肩ベルトを揃えてたたみます。収納しやすくするために、本体をたたむ前にすべてのバックルを留めておいてください。

フードを裏返します。
フードをつかんで裏返し、本体頭部をフードで包みます。

フードを深くかぶせます。

背当てボードを入れます。
フードの中でボードが横になるようにしてください。フードに入れづらい場合は、始めに縦方向に入れると挿入しやすいです。

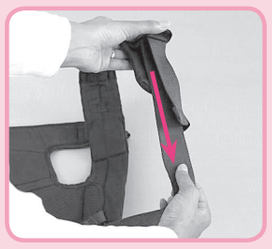
本体全てを入れます。
本体を丸めながらフードへ入れます。

収納の完了です。
フードを絞ることでポーチスタイルの完成です。

【ミニ知識】

肩ベルトの調節

肩ベルトを短くします。
余っているベルトを
矢印の方向に引っぱります。



肩ベルトを長くします。
ショルダーアジャスターを立てることで簡単に調節しやすくなります。

ベルトゴム

余っている肩ベルトをまとめます。
余っている肩ベルトの先端から丸めて、最後にゴムバンドで留めます。